



代表質問 ええとこ高島 熊谷 もも 議員

問 福井市長の59のマニフェスト、市長の自己採点は。「マニフェスト評価委員会」の設置を提案する。

答 市長 現時点では、自己採点や評価に至らず申し訳なく思います。マニフェスト評価委員会の設置については、その仕組みも含めて研究します。

問 学校給食への地元野菜の供給を促進するための支援とは。

答 学校給食を通じた食育、「身土不二」いわゆる食と暮らし、環境を学ぶことは重要です。農家の皆さんに対しても食育にご協力いただくため、生産組織に必要な経費を支援し、3年後には地元野菜の使用率を40%に引き上げます。

まちづくり

地域通貨を活用した森林施策を

意義ある取り組み、具体的に研究する

問 地域通貨アイカを活用し、森林の手入れの促進、森林資源の積極的な活用と市内経済循環活性化施策を改めて提案する。

答 地域通貨を活用した森林施策は意義ある取り組みです。関係機関や団体と具体的に研究をします。

問 市内に新ステーションの設置、薪ストーブや薪ボイラーの設置補助の創設を。

答 県内他市では普及啓発に向けた補助制度も創設されていることから、今後検討します。

問 高島の恵まれた自然環境を子どもたちの教育に生かすことは、高島に誇りを持つ強いメッセージとなる。高島市ならではの施策として、小学校の図書室に薪ストーブの導入を提案する。

答 教育長

高島の自然の豊かさややすらびさを自信を持って語る子どもたちを育てたいと考えます。図書室に薪ストーブを設置することの有効性と費用対効果、課題等を把握し、導入の可否を研究します。

問 原子力防災として学校や保育園および小さい子どもがいる家庭への安定ヨウ素剤の事前配布を。

答 市長

今後、市の備蓄分と県の配布分を合わせて二重の備蓄体制が整います。より安心していただける対応方法を引き続き研究します。

問 「人材育成と組織の改革」この一年職員との信頼関係の構築、市長が具体的に指示された取り組みは。

答

就任以来毎日のように様々な課題を協議し、その度、職員の政策形成能力の向上に意を用い対応してきました。昨年12月には若い職員による政策研究グループの立ち上げを提案し、12名の応募がありました。期間は本年1月から一年の予定ですが、今後も継続したいです。

高島市を元気に!

市長マニフェストの評価委員会の設置を提案する

答 委員会の仕組みを含め研究する



代表質問 ふるさと高島新風会 吹田 薫 議員

全国発酵食品サミットを終えて

今後はどのようになアピールしていくのか?

商工会を支援するとともに、市内外で物産販売を展開する

問 12月7日、8日と2日間にわたり開催された発酵食品サミットに1万8千名の大勢の方々が県内外から来場され、大変盛況に終わり、展示即売された発酵食品がほとんど売り切れ状態であったと聞く。発酵食品のすばらしさを十分に全国に発信することができたと思う。そこで質問する。

答 市長 また、今回のサミットにおける経済効果はどれくらいあったのか。

全国発酵食品サミットは市議会からも発酵食品推進に関する決議をいただいたように、長い歴史の中で育まれた本市の発酵食品文化を全国に発信し、今後これら地域資源を活かした経済の活性化を図る上で絶好の機会でした。

今後、市として発酵文化のすばらしさをどのように全国にアピールしていくのか。また、発酵文化に対してどのような支援、応援をしていくのか。

今後は商工会の「高島発酵食品倶楽部」の取り組みを支援する等、発酵文化の裾野を広げるとともに、高島市産業連携推進協議会を通じて、市内外で発酵食品

響庭野演習場周辺住宅の防音工事

工事の早期着工を

迅速な対応が図られるよう要請している

答 国の予算成立後に諸手続きを進めることが基本であるため、今通常国会の閉会後に申請手続きや交付決定事務を経て着工となります。既に近畿中部防衛局に対し、迅速な対応が図られるよう要請しており、具体的に検討いただいています。今後ともできる限りの早期着工、完成に繋がるよう要請していきます。

その他の質問

- 台風18号災害復旧事業
● 安曇川駅前周辺の再生他

問 高島市は日本海気候により冬場の工事がとても厳しく、施主にも迷惑をかける。近畿中部防衛局と協議し、工事の着工を少しでも早くしてもらえないか。